Press Release

ロングリーチグループ
ウェルネス・コミュニケーションズ株式会社の株式取得について

【東京 / 香港　2023 年 3 月 27 日】 独立系投資会社ロングリーチグループ（以下、「ロングリーチ」）は、伊藤忠商事株式会社（以下、「伊藤忠商事」）からの株式譲受を通じたウェルネス・コミュニケーションズ株式会社（以下、「ウェルネス・コミュニケーションズ」）への投資を実行しました。

ウェルネス・コミュニケーションズは、2006年の伊藤忠商事の社内ベンチャー制度による設立以来、「コーポレートウェルネスからパーソナルウェルネスまで。企業と人を元気にする」という企業理念の下、ヘルスケアSaaS及び健診代行業界を牽引してきました。同社は、健診結果に紐づくデータを一元管理・可視化可能な健康管理システム事業（ヘルスケアSaaS）を主に大企業向けに、健診代行事業を主に健康保険組合向けに展開しています。成長著しい両業界において、同社は市場を上回る成長率を実現し続けることで市場シェアを拡大している業界を代表するリーディングプレイヤーであり、既に100億円を上回る売上規模に達しています。

ロングリーチは、ウェルネス・コミュニケーションズがこれまでに確立した企業・個人・産業保健スタッフ・医療機関と密に連携したその事業・システム・データ基盤を発展活用することで、既存事業領域にとどまらない法人顧客及びその従業員向けに最適な健康増進ソリューションを提供する国内を代表する総合健康経営プラットフォームになるポテンシャルを有すると考えています。ロングリーチは、同社の更なる成長実現とサービス拡充に資する追加買収のほか、IPOの実現に向けた各種支援を行います。IPOにより獲得・アクセス可能となる各種リソースを通じ、既存事業の強化及び中小企業向け健康管理システムの立上げによる更なる成長加速を見込んでいます。

ロングリーチは、今回のウェルネス・コミュニケーションズへの投資は成長著しいヘルスケア及びアウトソーシング業界における業界を代表するリーディングプレイヤーへの貴重な投資機会と考えています。また、同社サービスは個人の健康を増進させるだけでなく、日本全体が直面する健康経営課題の解決に貢献可能な点でESGにも資する投資機会であると考えています。なお、本件投資は、ヘルスケア及びアウトソーシング業界への投資と価値向上に注力するロングリーチの投資方針に一致したものです。

###

ロングリーチグループについて (URL: http://www.longreachgroup.com/)

ロングリーチグループは、日本における戦略的プライベート・エクイティ投資を目的とした事業支援投資会社です。対象分野としては、日本におけるコンシューマー関連、産業テクノロジー、ビジネスサービスの各分野が中心となります。共同投資分を含め合計で約18億ドル（約2,000億円）規模の3ファンド（第1号・第2号・第3号）を運営しており、過去これらのファンドを通じて、様々な投資案件を手掛けてきた実績を有しています。

ロングリーチグループは、投資主体となるファンド並びに香港拠点のロングリーチグループ・リミテッドおよび東京拠点の株式会社ロングリーチグループにより構成されるグループです。東京拠点の株式会社ロングリーチグループは、日本およびアジア市場に関するデータや情報を収集し、投資ファンドが投資案件の発掘調査を行うためのコンサルティング業務を提供しています。

ロングリーチグループは、投資先企業の皆様との信頼関係を基に多様なソリューションを提供することを通じて、企業価値の創出に積極的に取り組んでいます。